

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	座間市立児童発達支援センター サニーキッズ (保育所等訪問支援)		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 23日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先の方針や現状を捉え、実践可能な支援方法や環境調整の提案を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> 主たる訪問支援員が継続的に観察に伺い、その時々に必要な職種が同行できるよう調整を図っています。(臨床心理士・児童発達支援管理責任者・相談員など) 担任、補助職員など支援にあたる先生と直接コミュニケーションをとり、集団で実践可能な支援について話し合ったうえで個別支援計画の作成を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 園行事などのスケジュールを共有させていただき、適当な時期やタイミングで訪問を行えるよう工夫していきます。 共有や意見交換が円滑に行えるよう、訪問ごとに担当する先生と訪問支援員が直接対話する機会を設けます。
2	保護者と訪問先の架け橋になれるよう、双方の思いや意図を伝え相互理解につなげられるよう努めています。	<ul style="list-style-type: none"> 日常の過ごしや行事の参加方法など、保護者と幼稚園/保育園双方の思いや方向性を確認し、子どもの現状に合わせた適切な過ごしや参加方法を提案するよう心掛けています。 保護者が直接幼稚園/保育園と対話する機会が持てるよう、大まかな方向性が決定したのちに、保護者から発信することを動機づけています。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、幼稚園/保育園の思いや意図を代弁し、双方が納得したうえで、子どもにとって必要な環境が担保されるよう努めていきます。
3	訪問支援を通じて、保護者がお子さんの状況について理解を深め、必要な環境等について考える・支援者と過ごしについて相談していけるよう支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 観察場面をタブレットなどの機器を用いて録画し、実際の場面における子どもの姿や環境を保護者と共有するなど、保護者が具体的なイメージを持ちやすいよう工夫しています。 集団の場における過ごしについて、児の発達段階や特性等を踏まえ「目指す姿」を共有していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問後の保護者フィードバックについては可能な限り対面で行い、保護者が思いを発信しやすい環境を心掛けていきます。 必要に応じて発達検査や病院受診などの客観的材を検討していけるよう、専門職等の助言を受けながらすすめていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学齢期以降の支援については実績が少ない状況です。	これまで未就学児を主たる対象として事業展開しており、学齢期以降のお子さんの支援や教育機関との連携について実績が少ないことが課題となっています。	<ul style="list-style-type: none"> 小学校就学のタイミングで引継ぎや、就学後のアフターフォローなどの機会を設け、教育機関との関係構築に努めていきます。 教育機関での取り組みについて知見を深め、方針や意図を踏まえた「実践可能な支援」などが提案できるよう努めていきます。
2	訪問頻度を原則1回/月と定めており、それ以上の頻度で訪問を求められた際に対応が難しいことが想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達との併行利用など、登園日数に制約があり日程の確保が難しいことが要因として考えられます。 必要に応じて電話等での情報共有を行っているため、高い頻度での訪問観察の必要性が生じていない状況です。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な場면을観察できるよう、訪問日時についてできるだけ柔軟な対応を行っています。
3			